

# 気まぐれ通信

平成27年8月2日 第56号

発行者 有限会社津口ファーム鶏卵部

たまごサミット2015イン東京  
和食はユネスコで無形文化遺産に登録。  
日本は卵を生食で食べれます。

7月31日から8月2日にわたり東京のホテルでたまごサミット2015が開催されました。東南アジアを中心として世界15か国から約100社200名くらいが参加していました。日本の大手鶏卵会社を中心となり、養鶏協会や卵業協会などの共催で行われました。私どもは参加をしていますが、会の開催にあたり、安倍総理自ら出席して挨拶がありましたのでその内容を紹介します。



『卵が先か、鶏が先か』。この有名な哲学的問いかけに関して、少なくともサミットについては、来年日本が議長国を務めるG7伊勢志摩サミットよりも、たまごサミットが先に開催されることになりました。

和食がユネスコの無形文化遺産に登録され、ミラノ万博でも和食が注目される中、日本の食材には世界の熱い視線が集まっています。

海外には卵を生で食べる習慣はありませんが、日本におきましては、すき焼きやご飯に生の卵をかけて食べる、独自の卵のおいしい食べ方がたくさんあります。日本の鶏卵は生でも食べられることが可能となるように、生産されています。

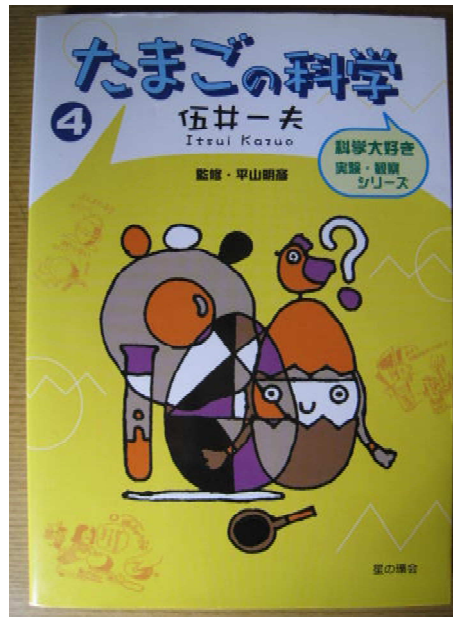
また近年、鳥インフルエンザの発生は、渡り鳥により、国境を越える猛威を奮っています。こうした伝染病の疾病を未然に防ぎ、蔓延を防止することが今後ますます重要になってきます。

このような中で、日本の高い衛生管理技術や疾病対策情報を共有することは、アジアの食品衛生分野の発展、栄養改善に貢献する非常に意義のあ

ることであると考えます。

また、企業の海外展開を通じて、日本経済のみならず、世界経済の成長と発展にも貢献するというアベノミクスの促進にもつながるものです。今回のたまごサミットを契機として、アジアを始め、世界における鶏卵の安全・安心の確保と、関連業界の発展につながることへの期待を申し上げまして、私の御挨拶とさせていただきますと思います。」

## 本の紹介



子どもたちは、今は楽しい夏休みを過ごしていることと思います。私も小学校の頃、夏休みの自由研究とやらで色々手がけた思い出があります。そんな昔のことを思っていたらちょうどその自由研究にふさわしい題名を目にしましたのでご紹介いたします。

科学大好き実験・観察シリーズ

たまごの科学 伍井一夫著

星の環会発行 1200円+税

科学と聞くだけで拒絶反応が出てしまう私ですが、これは楽しく読んだり実験をしてみたくなる本でした。「斜面を転がる卵のふしぎ」「生たまごと硝酸の関係」「殻でスープのあく抜き」等々。お子様の夏休みの自由研究にも役立つのではないでしょう。

### 【スポーツの話】

広島スポーツを愛する者にとって今は、嬉しいことがあります。サンフレッチェ広島は、セカンドステージ首位を走っています。年間勝ち点も浦和を抜いて1位。なんといい気分でしょう。カーブはもたもたしていますが、秋にはサンフレッチェとカーブの同時優勝が筆者の真夏の夢です。暑い日が続きますがお気をつけください。